



情報誌

FAR

54 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

「人生 100 年時代」と FAR 会の活用

会 長 川上壽昭



最近、メディアを通して「人生 100 年時代」という言葉を盛んに耳にするようになりました。「人生 100 年時代」は、ロンドン・ビジネススクール教授のリンダ・グラットン氏らが著した『ライフ・シフト』で提唱されたものです。この本では、これからの人間は寿命が延びるにつれて、人生設計を変えていかなければならない。つまり「人生 100 年時代」になると、これまでのように「教育→仕事→引退」の順に同世代がいっせいに進行していく「3 ステージ」の人生は通用しなくなり、100 歳まで生きるとしたら、80 歳から 20 年もあるわけで、人生を「マルチステージ」にシフトしなければならないということになります。

この「人生 100 年時代」に飛びついたのが安倍政権です。

「一億総活躍社会」というスローガン「人づくり革命」という目玉政策は『ライフ・シフト』の内容にピッタリはまったものです。そのため、「人生 100 年時代構想会議」なるものが発足し、一億総活躍社会実現、その本丸は人づくり。子供たちの誰もが経済事情にかかわらず夢に向かって頑張ることができる社会。いくつになっても学び直しができ、新しいことにチャレンジできる社会。人生 100 年時代を見据えた経済社会の在り方が構想されてきたもののようです。（私には、定年対象者を利用して、日本経済・年金の穴埋め策としか思えませんが）このような時代では、人生の過ごし方が変わる。これまで、学校教育で 20 年、仕事で 40 年過ごし、引退後は余生でありましたが、これからは引退後の人生は 40 年もあり、引退後の人生も安心して暮らせる蓄え、継続的にキャリアを積むための教育に加えて、健康に活動ができる期間（健康寿命）を維持することは、重要な人生戦略の一つとなってきます。一方、長い人生において生物学的な“衰え”は必ず生じます。

健康寿命を延ばし、衰えの期間を可能な限り短縮できれば望ましいのですが、衰えを完全に防ぐことはできません。私自身、傘壽を迎え人生の半分以上医療に身を置いてきた一人として果たして本当に「人生 100 年時代」が来るのか大いに疑問を感じています。

一方では、衰えを受け入れ、自らが尊厳を保ちながら、人生を自己決定できることが幸せな人生を送る上で重要なことではなかろうかとも思っています。

さて、「人生 100 年時代」の話はさておき、FAR 会の現状は情報誌 52 号の巻頭言で山副会長が述べられていますように、会員数は高齢化の進捗に伴って著しく減少傾向にあります。「人生 100 年時代」を迎えて、会員の皆様方には今一度「楽しく語らいのできる魅力ある同門会」にしたいとの「目的・趣旨」を思い出して頂き、FAR 会を有効に活用して頂ければ、時代の流れに即した活力を生む存在になるものと信じています。

内 容

- | | | |
|-------------------------------|--------|------|
| 1. ごあいさつ | 会 長 | 川上壽昭 |
| 2. 2019 FAR 会懇親の夕べ報告 | 代表幹事 | 橋本廣信 |
| 3. 2019 秋の FAR 会案内 | 代表幹事 | 小水 満 |
| 4. 新入会員紹介 | | |
| 5. 会からのお知らせ | | |
| 6. 2018 年度事業報告・収支決算書報告・会計監査報告 | | |
| 7. 2019 年度事業計画・収支予算 | | |
| 8. JSRT 情報 | | |
| 9. 寄 稿 「古墳巡り回想録」 | —その 3— | |
| | 川越市 | 森 克彦 |
| 10. 編集の小窓 | | |

世話人一同 FAR 会の発展に力を尽くしますが、会員の皆様方におかれましても、建設的な「お知恵」と「ご意見」をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

《2019 FAR 会懇親の夕べ》 報告

代表幹事 橋本廣信

平成最後の FAR 会「2019 懇親の夕べ」にご参加を頂きました皆様ありがとうございました。

今年の JRC2019 は、開催期間中天氣に恵まれ、みなとみらい、新横浜通りの桜が満開を少し越えた時期の大会で始まり、桜の花吹雪で閉会となった盛会裡の大会でした。

会期中の 4 月 13 日(土) JR 根岸線の桜木町駅に近い、内装が南イタリアをイメージした イタリアンダイニング ザ サウスに総勢 28 名の参加を頂き『2019 FAR 会懇親の夕べ』を予定時間通りに開催しました。

宴を始めるにあたり、店長により料理の内容について説明を頂き、会長ほか数名の方が総会で遅れてくるとのことで、数年ぶりに参加を頂いた遠山坦彦先生に 1 回目の乾杯をお願いしました。しばらくご歓談してから川上壽昭会長が見えられたので挨拶を頂き、その後、錦 成郎 JSRT 副代表理事のご祝辞を頂きました。続いて仕切り直しの乾杯を平林久枝副会長にお願いし和やかに宴を再会しました。料理は、イタリアン料理のコース料理でありましたが、雲丹とキャビアのパスタ・オマール海老のオーブングリル等の珍しい料理、数品目も用意して頂き皆さんに大変満足して頂けたと思っています。飲み物はビール、日本酒、焼酎、ワインなどの飲み放題とし、気楽に楽しんで飲食できるコースといたしました。今回も筒井政光名誉会員から差し入れて頂きました一升瓶の山口生粋搾りたて純米酒「原田」もすべて飲み干し、とても爽やかなイタリアン料理に合って大変好評でした。丁度喉の渇きが潤ったころ、第 75 回総会学術大会の石田隆行大会長、赤澤博之実行委員長がご挨拶にお見えになり、お礼の言葉を述べられました。参加者の皆さんで大会の成功を祈念してのエールを送りました。料理も進み中でやっと、その後、理事会に出席されていた森 克彦監事、宮高 睦事務局長及び事務局の方々が到着され全員揃いました。その後も参加された皆さんの近況報告等の会話が、楽しそうに弾んでいました。後半になり美味しい自家製のティラミスと桜のアイスを頂きました。閉めのご挨拶は、山 哲男副会長にお願いし、秋の懇親旅行などの紹介をして頂き、皆さんと楽しい時間を過ごせたことのお話を頂きました。最後に集合写真の撮影をして、2019 懇親の夕べを締めくくることが出来、楽しかった懇親の 3 時間があっという間に過ぎました。

最後に代表幹事の不行き届きをお詫びし、参加された皆様のご協力により、無事に「2019 懇親の夕べ」を開催することができましたことを此処に紙面をもって御礼申し上げます。

次回の FAR 会 秋「2019 秋の FAR 会」及び 春「2020 FAR 会懇親の夕べ」で、皆様と再会できます事を楽しみにしております。



レストラン正面(ホームページより掲載)



集合写真(山 哲男副会長提供)

《2019 秋の FAR 会》案内

「2019 世界遺産比叡山延暦寺詣と石山寺紫式部を訪ねて」

代表幹事 小水 満

第 47 回秋季学術大会は、会期：2019 年 10 月 17 日(木)～19 日(土)、会場：グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)にて、福西康修(彩都友誼会病院) 大会長のもとで、大会テーマを「Let's lead smart medical care through our imagination and creativity - 未来へ -」とし、近年の技術革新を敏感に捉えて未来を見据える技術学会としています。FAR 会としても未来に繋がる学会をサポートするような会を目指したいものです。

福西大会長の紹介にもありますように、大阪は水の都、食い倒れの街、お笑いの街など色々な顔がありますが、この度の FAR 会の懇親の旅では、大阪を離れて静かな関西の奥座敷の 1 つの滋賀県を案内します。滋賀県には、日本最大の面積(県の 1/6 を占める面積と周囲約 220 km)と貯水量を有する琵琶湖があります。ここから流れ出る水は瀬田川・宇治川・淀川と名前を変えて、大阪湾へ至る流域と琵琶湖疏水として京都市が取水している流域があり、何れも上水道として利用され京阪の水瓶と言われています。また、滋賀県は琵琶湖を中心に北は伊吹山地の伊吹山(標高 1,377m)、東は御在所岳(標高 1,212m)を含む鈴鹿山系、西は武奈ヶ岳(1214.4m)を含む比良山系、そして南は三国岳(標高 600m)と称する峰々など四方を山に囲まれ山岳、スキー、ハイキング、キャンプ地、湖での水泳、ヨット、釣りなど四季を通して観光とレジャー、スポーツが楽しめます。近年、琵琶湖周遊道路が整備されビワイチと称したサイクリングが盛んに行われ、湖周を色々な方向から眺めながら景観を楽しむことができます。

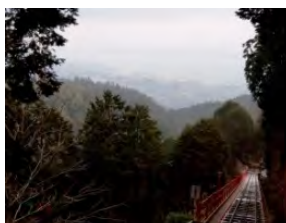
皆様は、滋賀県をどれくらいご存知でしょうか。滋賀県の知名度は全国的に見てもかなり低い順位ですが、琵琶湖を筆頭に多くのパワースポットがあります。そこで今回は、「世界遺産比叡山延暦寺詣と石山寺紫式部を訪ねて」として、特に、比叡山、琵琶湖を、そして紫式部を訪ねる旅を計画しました。是非、絶景の秋に滋賀県のパワースポットを満喫しませんか。



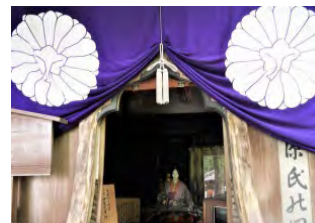
琵琶湖から見上げる比叡山



世界遺産霊峰比叡山延暦寺



比叡山から見下ろす琵琶湖



石山寺紫式部展

旅行のご案内

日 程：2019 年 10 月 19 日(土)～20 日(日)1 泊 2 日

旅 先：滋賀県 大津市

参加費：30,000 円(1 人) 家族の方も大歓迎です。

旅 行：バスツアー

旅日程表

1 日目：10 月 19 日(土)石山寺紫式部展とびわ湖めぐり

国際会議場 11:45 出発 — 石山寺 13:15 — 石山寺 14:30 出発 — ミシガンクルーズ 15:10 出航 — 16:30 帰港 — アヤハレークサイドホテル 17:00 到着

2 日目：10 月 20 日(日)坂本ケーブルと比叡山延暦寺

アヤハレークサイドホテル 9:00 出発 — ケーブル坂本駅 10:00 出発 — ケーブル延暦寺駅 10:15 — 延暦寺 10:30 到着 — 延暦寺散策 — 昼食(延暦寺会館：精進料理)12:00 — 延暦寺散策 — 延暦寺 13:00 出発 — 京都駅 14:00 着 解散

《新入会員紹介》

小川 清（埼玉県上尾市、2019年4月19日入会）



【近況】2018年4月より群馬パース大学にて勤務しています。2019年4月より1年担任を任され忙しい日々を送っています。

【趣味】一人ドライブ、一人音楽鑑賞、二人食べ歩き。

（「写真」ならびに、「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです。）

錦 成郎（奈良県奈良市、2019年4月24日入会）



【近況】2018年度で学会の理事を退任することを契機に伝統あるFAR会に入会させていただきました。どうぞよろしくおねがいします。

会長の川上先生をはじめ多くの著名な先生方とともに楽しく過ごさせていただけたら幸いです。何はともあれ2019年の秋季大会は大阪で開催されます。その節は小水先生と共に頑張りますのでよろしくお願い致します。

【趣味】ギターは50歳になったときに始めました。家内から無趣味な老後は悲惨なことになると脅されたこともありましたが、何よりも学生の時に憧れていたエレキギターを弾けるようになりたい一心で練習を始めました。JRC2018の大会

長招宴でも披露させていただきましたが、なかなか上手にならないことが悩みの種です。

その他は、海釣り特に筏（カセ）釣りが大好きです。皆様と比較すると超若手となりますが、どうぞよろしくお願い致します。（「写真」ならびに、「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです。）

《会からのお知らせ》

会員動向

会員数(2019年4月13日現在)：92名(内、名誉会員：14名)

・2019年4月1日から現在までの新入会員：なし

・2019年4月1日から現在までの死亡退会者、自己退会者、会費未納による退会者：なし

2019年度第1回世話人会議報告

2019年4月13日、パシフィコ横浜会議センター(横浜市)において、川上壽昭会長を含め19名が出席し、以下の議題で討論・審議した。

議題に先立ち、山総務委員長より以下の2点に関して訂正する事の了解を求められた。

(1)2018年度第1回世話人会議の【2018年度収支予算書(案)】の支出の部の「運営旅費」の予算額数値の一部訂正、即ち、「運営旅費」予算額を65,770円としていたのを100,000円に訂正する。

(2)2018年度第1回世話人会議の議事録の内、上記(1)の内容の訂正並びに、【2018年度収支予算書(案)】の支出の部の「懇親会費」予算額の値を880,000円としていた値を890,000円に訂正する。

審議の結果、提案通り訂正する事とし、情報誌第51号9頁に掲載の各々の箇所の数値を訂正する「訂正記事」を掲載する事とし、今後同様の間違いを犯さない様に一層の注意を行う事とした。

【議 題】

1. 会務報告

(1)会員動向

会員数(2019年3月末現在)：92名(内、名誉会員：14名)

・新入会員：ナシ ・死亡退会者：ナシ ・自己退会者：ナシ

- ・会費未納による退会者：ナシ

(2) 第2回運営委員会と第1回総務委員会との合同委員会報告（詳細内容は会議終了後議事録送付済）

- ・日時：2019年1月11日（金）・場所：JSRT事務局・出席者：川上会長を含む8名参加
- ・主な議題：1. 会務報告 2. 次年度事業計画・次年度予算案 3. 委員会報告
4. 会員の高齢化に伴う会員数減少傾向に対する対策について

(3) 事務局報告

資料を基に、業務報告並びに月別収支計算書報告した。

2. 2018年度事業報告・収支決算書報告・会計監査報告

(1) 【2018年度事業報告】

1) 会員動向

- ・会員数(2019年3月末現在)：92名(内、名誉会員：14名)
- ・名誉会員推戴：2019年1月1日付けで新たに下記の6名を名誉会員に推戴した。
丸山静雄・神田幸助・木内繁夫・雄川恭行・鶴田重彦・齋藤一彦
- ・新入会員：1名 鈴木昇一（愛知県、2018/12/7付け）
- ・死亡退会者：1名 厚東正之（京都府、2018/5/4逝去）
- ・自己退会者：2名 金山敬典（徳島県、2018/6/27付け）
野原弘基（京都府、2018/10/31付け）
- ・会費未納による退会者：ナシ

2) 事務局報告：1. 業務日報、2. 収支計算書報告(議題1-3と同じ)

3) 規約の一部改訂を行った

現行の規約第4条の一部を下記の通り改訂し、即日施行した。

【改定後の第4条】

第4条（会員）

この会の会員は、会の目的ならびに規約に賛同し、年会費を納めた次の者とする。

「正会員」

- (1) JSRTの会員あるいは元会員
- (2) JSRTの事務局員あるいは元事務局員
- (3) その他、本会員の推薦により世話人会議で認められた者

「名誉会員」

会員であって、5年以上在籍で米寿(数え年88歳)を過ぎた者で、終身とする。

4) 情報誌印刷・発送作業並びに、HP更新作業について

第51号、第52号、第53号を、印刷・製本・発送作業を事務局の協力の下、夫々行った。
また、HPの更新箇所を事務局に指示の下、各々最新情報に更新した。

5) 会議関係

- ① 第1回世話人会議を2018年4月14日、パシフィコ横浜会議センターにおいて、川上会長を含む19名の出席の下、開催した。
- ② 第2回世話人会議を2018年10月6日、仙台国際センター会議棟において、川上会長を含む18名の出席の下、開催した。
- ③ 第2回運営委員会・第1回総務委員会との合同委員会を2019年1月11日、JSRT事務所において、川上会長を含め9名の出席の下、開催した。

6) 情報誌関係

- ① 第51号を頁数24頁で、2018年5月15日に発行した。
- ② 第52号を頁数12頁で、2018年9月15日に発行した。
- ③ 第53号を頁数20頁で、2019年1月15日に発行した。

7) 懇親活動

①「2018 FAR 会懇親の夕べ」を下記の内容で行った。

- ・代表幹事：江島光弘 ・日時：2018 年 4 月 14 日、18:30 ～
- ・場所：BEER NEXT(横浜赤レンガ倉庫 2 号館)
- ・参加費：10,000 円(会員・会員家族)、10,000 円(非会員)
- ・参加者数：29 名(会員：21 名、会員家族：1 名、JSRT 職員：3 名、非会員(JSRT 役員)：4 名)

②「2018 日本三景松島と震災復興視察の旅」を下記の内容で行った。

- ・2018 年 10 月 6 日、7 日(1 泊 2 日) ・懇親会会場(宿泊地)：松島センチュリーホテル
- ・行程：1 日目：閑上日和山、震災遺構荒浜小学校、松島瑞巖寺、懇親会
2 日目：バスにて石巻まなびの視察、シーパルピア女川、仙台駅にて解散
- ・代表幹事：梁川 功 ・参加費：30,000 円 ・参加者数：20 名(内、会員家族 1 名)
- ・会計報告：資料を基に報告し、了承した。

(2) 【2018 年度収支決算書報告】

FAR 会 2018 年度収支決算書

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

収入の部

科 目	予 算	決 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	696,503	696,503	
年 度 会 費	188,000	168,000	84 名分
新入会分	10,000	0	
寄 付 金	50,000	40,000	小倉代表理事より(4 月)、有馬先生より(10 月)
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	890,000	860,000	2018 懇親の夕べ(29 名 @10,000 円)、 2018 秋の FAR 会(19 名 @30,000 円)
雑収入(利子等)	10,000	32,005	利息(4/1)、厚東先生(退会)の 3 年分の会費、 金山先生(退会)の 1 年分の会費、利息(10/1)、神 田名誉会員の 3 年分会費、雄川先生の 7 年分の会 費、鶴田先生の 2 年分の会費
小 計	1,148,000	1,100,005	
預 かり 金 収 入	224,000	40,000	萩原(明)(30-32)、川村(30-34)、鶴田(30-32)、 熊谷(30-34)、鹿沼(30)、西谷(30-34)、 小松(30-34)、川野(30-32)、鈴木(30-34)、 齋藤(30)
(次年度以降分)		242,000	延 121 名分
合 計	2,068,503	2,078,508	

支出の部

科 目	予 算	決 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	40,000	30,000	51 号作成費、52 号作成費、53 号作成費
懇 親 会 経 費	890,000	808,242	2018 懇親の夕べ(29 名)・写真用 DVD-R(25 枚)、 2018 秋の FAR 会(19 名)

会 議 費	50,000	0	
運 営 旅 費	100,000	54,320	運営委員会・総務委会合同委員会(1/11 開催、5 名分)
通 信 郵 送 費	70,000	55,192	メーリングリスト年会費、はがき、レターパック、情報誌郵送料(51 号、52 号、53 号)等
事 務 用 品 費	20,000	4,320	情報誌 51 号、52 号、53 号用コピー用紙、賞状代
新 規 事 業 費	10,000	0	
雑 費	10,000	0	
(払込手数料等)	10,000	1,150	
小 計	1,200,000	953,224	
預かり金支出	224,000	40,000	前年度受取
(次年度以降分)		242,000	今年度受取
次 年 度 繰 越	644,503	843,284	
合 計	2,068,503	2,078,508	

3 月末

通常郵便貯金	618,222	569,907	記号番号 14480-30475391
振 替 貯 金	414,528	485,378	口座番号 00920-9-179576
手 持 ち 現 金	47,753	69,999	
合 計	1,080,503	1,125,284	

(3) 【2018 年度会計監査報告】

会計監査報告書 2019 年 4 月 5 日 FAR 会 会計監査 前田幸一 FAR 会の 2018 年度会計監査について下記のように報告いたします。 記 私前田幸一は 2018 年度収支計算書・会費納入台帳・預金通帳・振替貯金・現金出納帳・及び領収書などの提出を受け、詳細に精査いたしました。 収入項目及び金額・支出項目及び金額など記載に間違いなく管理されていることを報告いたします。 以上
--

会計報告書を基に前田幸一会計監査より報告した。

審議の結果、【2018 年度事業報告】、【2018 年度決算報告書】並びに【2018 年度会計監査報告書】を報告通り了承した。

2018

FAR

3. 2019 年度事業計画(案)・収支予算(案)

(1) 【2019 年度事業計画(案)】

1) 学術大会(春・秋)に合わせて親睦・交流事業の推進(詳細は議題5で審議)

①第75回総会学術大会時に「2019 FAR 会懇親の夕べ」を開催する。

②第47回秋季学術大会時に「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」を開催する。

2) 情報誌の発行

例年通り3回発行する。

(第54号2019/5/15発行、第55号2019/9/15発行、第56号2020/1/15発行)

3) 会員相互に共通する情報交換を JSRT と連動したホームページならびにメーリングリストを用いての活動を推進すると共に、新入会員の加入に努める。

4) 世話人会議・運営委員会の開催

①世話人会議を2019年4月(横浜)、2019年10月(大阪)で開催する。

②運営委員会と総務委員会との合同委員会を2020年1月(京都)で開催する。

(2) 【2019 年度収支予算】

FAR 会 2019 年度収支予算書

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越	644,503	644,503	
年 度 会 費	188,000	156,000	名誉会員14名を除く78名を見込
新入会分	10,000	10,000	5名
寄 付 金	50,000	30,000	前年並を見込む
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	890,000	1,200,000	2019 懇親の夕べ(30人、@10,000円) 「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」(30名、@30,000円)
雑収入(利子等)	10,000	10,000	利子等
合 計	1,792,503	2,050,503	

支出の部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
情 報 誌 作 成 費	40,000	40,000	情報誌54号、55号、56号編集諸掛
懇 親 会 経 費	1,090,000	1,200,000	2019 懇親の夕べ(30人、@10,000円) 「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」(30名、@30,000円)
会 議 費	60,000	50,000	前年度並み
運 営 旅 費	100,000	100,000	運営・総務合同委員会
通 信 郵 送 費	70,000	70,000	情報誌郵送費他
事 務 用 品 費	20,000	20,000	情報誌等のコピー用紙他
新 規 事 業 費	10,000	10,000	

雑 費	10,000	10,000	
(払込手数料等)	10,000	10,000	振込手数料
次 年 度 繰 越	614,614	540,503	
合 計	2,009,614	2,050,503	

審議の結果、【2019 年度事業計画(案)】並びに、【2019 年度収支予算(案)】を提案通り了承した。

4. 情報誌関係

下記の通り、年間 3 回発行する。

- ①第 54 号(2019 年 5 月 15 日発行、原稿締切日：2019/ 4/15)、巻頭言執筆予定者：川上壽昭
- ②第 55 号(2019 年 9 月 15 日発行、原稿締切日：2019/ 8/15)、巻頭言執筆予定者：平林久枝
- ③第 56 号(2020 年 1 月 15 日発行、原稿締切日：2018/12/15)、巻頭言執筆予定者：藤田 透

5. 懇親活動

- (1) 第 75 回総会学術大会時に「2019 FAR 会懇親の夕べ」を開催する。

- ・代表幹事：橋本廣信
- ・日時：2019 年 4 月 13 日(土)18:30～
- ・場所：イタリアンダイニング ザ サウス(横浜市中区花咲町 2-65)
- ・会費：10,000 円 ・申込方法：情報誌第 53 号同封葉書(申込締切：2019 年 3 月 15 日)
- ・参加者：28 名(会員・会員家族：22 名、非会員：6 名)

- (2) 第 47 回秋季学術大会時に「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」を開催する。

- ・代表幹事：小水 満
- ・日 時：2019 年 10 月 19 日(土)、20 日(日)(1 泊 2 日)
- ・行き先・行程：
 - 1 日目：大阪国際会議場 ⇒ 石山寺(源氏物語・紫式部ゆかりの寺参拝) ⇒ 大津港より
ミシガンクルーズ(琵琶湖周遊) ⇒ 大津市内ホテル宿泊(懇親会)
 - 2 日目：ホテル ⇒ ケーブル坂本駅から日本一長いケーブルカーで比叡山延暦寺(根本中堂拝観・
散策) ⇒ 延暦寺会館(昼食) ⇒ バスにて比叡山ドライブウェイ ⇒ JR 京都駅(解散)
- ・宿泊地：アヤハレークサイドホテル(懇親会場、大津市におの浜 3-2-25 TEL：077-524-2321)
- ・参加費：30,000 円
- ・申込方法：情報誌第 54 号同封葉書(申込締切：2019 年 8 月 15 日)

- (3) 第 76 回総会学術大会時の「2020 FAR 会懇親の夕べ」の代表幹事選定

(第 76 回総会学術大会 会期：2020 年 4 月 9 日～4 月 12 日、パシフィコ横浜、大会長：奥田保男)

- ・代表幹事：石井 勉世話人を選任した。

- (4) 第 48 回秋季学術大会時の「2020 秋の FAR 会」代表幹事の選定

(第 48 回秋季学術大会 会期：2020 年 10 月 15 日～17 日、東京ファッションタウン、
大会長：飯田紀世一)

第 48 回秋季学術大会の開催地が東京都である事、またこの年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年である事等を考慮して、例年行っていた 1 泊 2 日の懇親旅行は行はず、代わりとして、「2020 秋季懇親の夕べ」を開催する事とし、森 克彦世話人を代表幹事に指名した。

6. その他

- (1) 会員の高齢化と新入会者の増加方法について

会員の高齢化と共に、新入会者の減少は議題 1.-(2)で報告した通りであり、今後、50 歳代から 60 歳代の新入会者が増えなければ、本会存立に関わる事態となる。

- (2) 会議関係

- 1) 世話人会議

- ① 第 1 回世話人会議

日時：2019年4月13日(土)15:00～16:30、場所：パシフィコ横浜会議センター 317 会議室

② 第2回世話人会議

日時：2019年10月19日(土)10:30～11:30(予定)、 場所：大阪国際会議場(予定)

2) 運営委員会と総務委員会との合同委員会

日時：2020年1月(予定)、 場所：JSRT 事務局(予定) 以上

《お詫びとご訂正のお願い》

情報誌第51号(2018年5月15日発行)9頁掲載の「FAR会2018年度収支予算書」の「支出の部」の「懇親会経費」予算額880,000の値を890,000に、また「運営旅費」65,770の値を100,000に訂正する様にお願い致しますと共に、会員各位にはご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。

《JSRT 情報》

『第47回秋季学術大会』大会テーマ：Let's lead smart medical care

through our imagination and creativity — 未来へ —

大会長：福西康修(彩都友誼会病院)

会 期：2019年10月17日(木)～19日(土)

会 場：グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

『第76回総会学術大会』大会テーマ：Power of Imaging

大会長：奥田保男(放射線医学総合研究所)

会 期：2020年4月9日(木)～12日(日)

会 場：パシフィコ横浜会議センター他

《寄 稿》

「古墳巡り回想録」 —その3—

川越市 森 克彦

「愛宕神社・愛宕側古墳」*埼玉県選定重要遺跡・南大塚古墳群

川越市大袋新田、国道16号線と並行してはしる入間川街道沿いに愛宕神社があります。神社が建っている盛り土の部分が埼玉県選定重要遺跡に指定されている「南大塚古墳群」の1つで「愛宕側古墳」です。資料によると直径15mの円墳で、建造年代は不明と記載されており、古墳には、案内板なども有りませんでした。



愛宕神社の大鳥居



愛宕神社の社殿



社殿が建っている愛宕側古墳は、コンクリートで固められ古墳の原型をよく見ることはできませんでした。

「中原古墳」(南大塚古墳群)



中原古墳は、西中原古墳の南西に存在する円墳ですが、未調査のため出土品や規模は不明、概要は、径 13m 以上の円墳とされています。この古墳も入間川街道沿いにあります。写真は、入間川街道から撮影したもので手前は畑で南側は駐車場のブロック塀、西側（向こう側）及び北側は住宅地となっており古墳に立ち入ることができませんでしたので、墳頂に祠があるか判明しませんでした。

「西中原 1 号墳」(南大塚古墳群)



電柱と囲いの手前は、市道です。



史跡の指定も説明版也没有ありません。

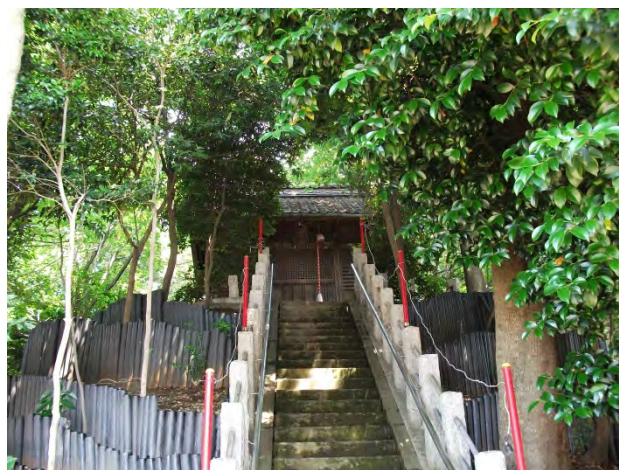


左奥の白い建物が廃業したホテル
西中原1号墳は、廃ホテルの庭先に存在している径24×18m、高さ15mの円墳です。埴輪や須恵器、土師器が出土しており7世紀初頭の築造とされています。地域の開発がここも進み、市道の後ろ側は、関越自動車道で古墳の周りは住宅が立ち並び古墳の消滅が危惧されます。

古墳の南側（写真左）は、個人住宅

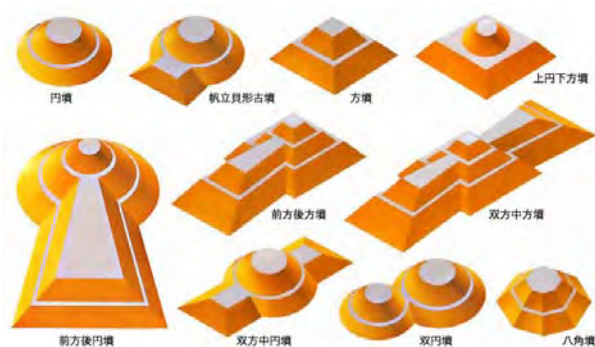
「八雲神社古墳」

川越駅から南の方へ進んだ住宅地の中に存在する古墳です。
正面の参道から計測すると 直径 26m の円墳と判断できますが、入口わきの掲示板は古墳の内容ではなく、「祭りばやし」の解説文が掲載されています。
下記の写真のごとく、墳丘が崩れないように杭により保護されているのが確認できます。
墳頂部を削って社殿を建てた神社古墳の典型ではなく、元々ある墳丘の上に石垣を築いているようです。



八雲神社入口の石の鳥居

社殿への階段





八雲神社古墳 北側より見上げた写真



南側より見上げた写真

「浅間神社・的場古墳」



宅地の一角（木造の鳥居）



浅間神社の石碑（円墳：墳頂）



浅間神社古墳を下から見上げた所



墳頂から（住宅の入り口が見える）

浅間神社古墳は、閑静な住宅街にあり、直径 20m×高さ 5m 程の円墳です。墳頂部への登り口には鳥居がありますが、墳丘斜面の観察は困難でしたが墳頂から見下ろした感じは、径の割に高さが有るので、後世に盛り土された可能性が考えられます。この古墳にも説明板の様な物は何も無く、わずかに埴輪片が出土したとの記載が資料にあります。詳しい調査もされてないので、詳細は不明ですが、近くの牛塚古墳が 6 世紀後半～末期頃と推定されているので、この古墳もそれに近い時期～ 7 世紀前半頃だ

と考えられます。

墳頂部の状況から判断すると以前は、社殿が建っていたと考えられますが、現在は写真の様に石柱が建てられています。墳頂部から見る浅間神社古墳は、住宅地の角地に残されていますが、南西側と東側が道路によって一部削られている以外は、比較的当時の原型を残しているものと考えられます。

【隣接する市町の古墳】

「権現山古墳群」＊ふじみ野市・県指定文化財史跡

毎日のウォーキングコースの約9km 地点近くの新河岸川沿いに存在する権現山古墳群（ふじみ野市：川越市と接する場所）が有りますので時折、休息を兼ねて散策する場所です。



盟主の墓「2号墳」の案内板



権現山古墳群案内板

【盟主の墓「2号墳」案内板の記載内容

紀元3世紀後半にあたる弥生時代の終わりから古墳時代の初め頃、新しい居住場所を求める人々が集団でここ権現山の地にやってきました。当時の人々は、5～6mの竪穴式の家を造り、数軒がまとまって生活していました。この辺り一帯を支配する首長が亡くなると、人々は墳丘の大きさが32mの前方後方墳のお墓（2号墳）を造りました。お墓の形に沿って周りに溝を掘り、高さ2～3mの盛り土をしたところに遺体を埋葬しました。その後も有力者が亡くなるたびに次々と首長の墓の周りに方形のお墓（7号墳ほか）を造り、壺や食べ物を盛る高坏をお墓の上に飾り葬送儀礼を行って死者を弔いました。

見晴らしの良い高台のへりに築かれたたくさんのお墓は、すぐ下の集落（滝地区）から仰ぎ見る位置にあって、亡き首長たちの偉容をあらわし、当時の人々にとって大きな心の拠り所だったことでしょう。この時期の古墳は、埼玉県内で現存している例が少なく、永く将来に残すべき貴重な文化財として保存していく必要があります。＊ふじみ野市教育委員会】



権現山古墳群遺構配置案内板



3号墓表示板

【権現山古墳群案内板の記載内容

前方後方墳一基と方墳 11 基が作られ、前方後方墳（2 号墳）は、墳長 32m、後方部 24m で、古墳群の中でもひととき大きく、盟主の墓であると考えられます。古墳の周りをめぐる溝の中からは、葬送儀礼に使用された高坏や底部に穴をあけた壺などが出土しました。なお、権現山の由来は、別の案内板によると徳川家康一行が鷹狩りに来た時に休息したと伝えられている塚で対岸には、家康一行が立ち寄った蓮光寺（川越市）も有ります。塚の上には、「東照神祖命」と刻まれた小さな石碑が建てられています。】



蓮光寺総門



権現山を蓮光寺から見た情景（手前の葦は新河岸川）

蓮光寺総門の案内板の内容は、下記のように記載されています。

蓮光寺総門（市指定建造物）・高麗門切妻造り幾瓦葺き左右袖塀付き

蓮光寺は、曹洞宗で鷲嶽山と号す。長禄二年（1458 年）に開かれたという、江戸時代には御朱印を七石受けている。この門は、大きな部材を用い、梁や部材の先端に設けられた練り型彫刻の力強い彫り込み、梁の中央部に備えられた太瓶束などから高度な技術を持った江戸時代後期の職人によって造立された門であり、川越市内でも一級品で貴重である。また、蓮光寺にとっても現存する最も古い建築物としても貴重である。

平成十一年三月 川越市教育委員会

「方墳大塚古墳」＊さいたま市・県指定史跡



方墳大塚古墳の石柱と案内板



北側は駐車場となっています。（向かい側）





西側は、道路で車の交通量も多かったです。

【案内板の説明概要

方墳大塚古墳・埼玉県指定史跡

方形に土を盛り上げられていることから、古墳時代の墳墓の一形態である方墳と考えられています。規模は、底辺で21mと25mの方形で、頂上部は、一辺9.5mの正方形で、高さは約4mあります。発掘調査が行われていないので、埴輪の有無や内部のようすはわかりません。以前は周辺にも小古墳があったといわれています。

埼玉県内の古墳は、円墳が多く、方墳は数が少なく貴重です。

平成八年三月 埼玉県教育委員会 大宮市教育委員会（現：さいたま市）】

方墳に上る階段・道等はありませんでしたので、古墳保存のため登頂は断念しました。



南側は、砂利置き場となっていました。

「琵琶島稻荷古墳」＊さいたま市



登り口から見た石の鳥居



祠までの参道





墳頂の祠



北側から見た琵琶島稲荷古墳

琵琶島稲荷古墳

さいたま市立土屋中学校側の住宅街の中にある、独立丘陵上に存在していた事が知られている古墳の跡地です。

昭和 47 年の指扇（さしおうぎ）新屋敷貝塚の発掘調査の際に、幅 2～2.8m の周堀の一部が直角に曲がったものが発掘され、同じ形状の方墳大塚古墳と同時期の方墳があったとされています。方墳大塚古墳から少し距離が離れているので、独立墳とする見方と大塚古墳と形状が同じ事から、大塚古墳群に属するとするとの見方の 2 つがあります。調査資料では「大塚古墳群に属する」との記述があるので、大塚古墳群に属する古墳と考えられます。

墳頂には稲荷神社が祀られていて、大きな鳥居と小さな祠が建てられていました。

資料によると、周堀内からは、長頸壺の頸部が出土しており、さいたま市立博物館に収蔵されているとのことです。資料には築造年代の記述がありませんが、方墳大塚古墳と同時期とすると、5 世紀後半～6 世紀前半と考えられます。

参考：琵琶島稲荷古墳

- ・墳形：（推定）方墳、規模：不明、周堀：一部検出 幅 2～2.8m、出土品：長頸壺頸部
- ・埋葬施設：（推定）凝灰岩使用横穴式石室、築造年代：（推定）5 世紀後半～6 世紀台、以上

「坂下古墳」＊狹山市



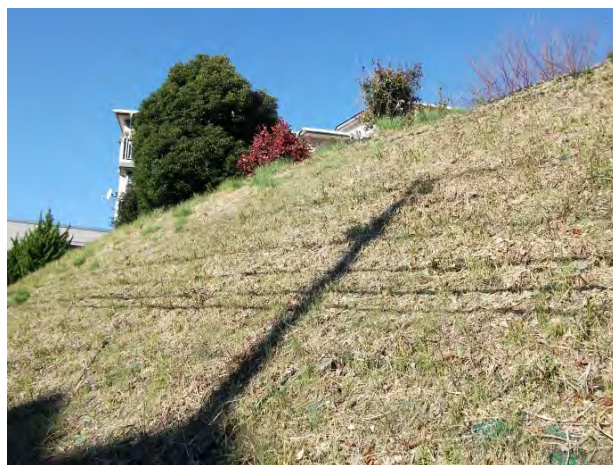
坂下古墳を西側から撮影した写真です。（ブッシュの先は住宅と畑です）



西側宅地より撮影した写真です。(下は、保育園及び住宅・駐車場です)

坂下古墳は、奥富古墳群の一つで、6世紀頃に築造されたと推測されています。昭和8年に奥富村内から直刀が出土している他、石室を有する前方後円墳があったといわれていますが、現在は、坂下古墳のみが存在しています。古墳案内表示および説明板等ありませんし、古墳全体が見当のつかない場所に存在し、確認するのに苦労をしたことが思い起こされます。

「上広瀬古墳群」＊狹山市



墳丘の周囲は、住宅が建設されていました。



写真左側が、工業団地日高線・右側が古墳台地

現在までに10基が確認されているが、墳丘は低く、半地下式の横穴式石室をもつ古墳である。

横穴式石室入口側は石板にて固定されている。

1963 年(昭和 38 年)、都市計画道路工業団地日高線の拡幅工事により、横穴式石室が発見され、大刀 1、刀子 3、耳環 2 が出土しています。

「富士塚古墳」＊狹山市



フェンスの中にカメラを入れて北側からの古墳



西側からの古墳



墳頂に祠を望むことができる



古墳全体が緑のフェンスで囲まれている

この富士塚は狹山工業団地内の公園内にあり、公園の名も「富士塚公園」と呼ばれています。

文献等によれば富士塚頂上の石祠に刻まれている日付は、文政 11(1828)年とのこと。造立日とすれば狹山市では最も古い富士塚ですが、塚の周囲はフェンスで囲まれており、一般の立ち入りが出来ないと考えられます。実はこの富士塚は、元々は古墳であり、7 世紀のものといわれていますが、元々古墳であった場所に石祠を建て、富士塚としたものと考えられます。この付近は入間川左岸の河岸段丘上であるが、古くから人が住み着いていたと考えられ、この塚から狹山中央通りを挟んで数百メートルの所にも 7 世紀頃と見られる、今宿遺跡があります。

公園の入り口の門柱には「富士塚公園」と刻まれており、公園は狹山市の管理となっています。富士塚は緑のフェンスに囲まれており、鬱蒼とした木々に覆われており、中には入ることは出来ないようです。この古墳は一般には「富士塚古墳」と呼ばれており、高さは 3～4m 程で、墳頂には小さな祠があり、「浅間宮」と刻まれているといわれています。 一次号へ続くー

速報「2019 年 4 月 27 日：東京新聞・埼玉版」

川越市教育委員会は、同市大手町の川越城跡発掘調査で、古墳時代後期（6 世紀末～7 世紀）の円墳（幅約 23m）が見つかったと発表した。石室からは鉄製の直刀、柄頭、鉄鏃などが出土したと報じました。

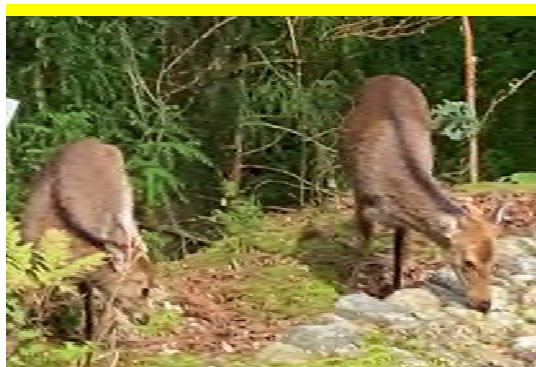
《編集の小窓》

新しい年号となり、「情報誌 FAR 54 号」は令和元年のはじめに発刊する情報誌となりました。今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

令和と年号が改まり、私も昭和・平成・令和の3つの年号を経験しますが、過去には、政治改革、災害、飢饉などで年号を改めたため40年間で7～8回年号が変わるといったこともあったようです。そこで今回、大化(645～650年)から令和まで、すべての時代を生き抜いてきた大物と会ってきました。それは屋久島の紀元杉(樹齢推定3,000年、樹高19.5m、幅8.1m、標高1,230m)です。皆さんの中には縄文杉(樹齢推定4,000年、樹高30m、幹周16.1m、標高1,300m)までトレッキングをされた方もおられるかと思います。一般的に杉の寿命は500年と言われており、屋久杉(樹齢1,000年を越えたもの)がいかに他に類を見ない特別な杉であるかがわかります。神秘的な力を持つ自然環境の中で、悠久の時間が育んだ屋久杉との出会いはとても心に残るものでした。島で出会った生き物(ヤクシマザル、ヤクシカ)たちもそれぞれ個性的でその可愛さに癒されました。今始まった令和の時代が、未来をより良いものとするための通過点として、十分な役割を果たせる時代と成りますよう願っています。



紀元杉 (樹齢推定 3,000 年)



【ヤクシカ】ニホンジカの亜種の中でも特に小型、メスの体重は19-25kg前後、オスの体重は24-37kg前後。 江島光弘、記



【ヤクシマザル】屋久島はニホンザルの分布の南限として知られ、小型でずんぐりしており、手足が黒く、体毛はやや長く太くまばらで、灰色を帯びる。オスの成体は、頭の毛が中央から左右に分かれ、桃割(ももわれ)と呼ばれる。

FAR 情報誌 No.54 (非売品)

発行日 2019年5月15日

発行者 川上壽昭

編集委員会 森 克彦 (委員長)

石井 勉 江島光弘

橋本廣信

山田和美 (顧問)

森 連絡先 Tel&Fax : 049-225-2619

Email: far_editorial_boards@yahoo.co.jp

mokamokawh@gmail.com